

近年、海洋プラスチックごみによる地球的規模の環境汚染が問題となっている。これを受けて政府は、令和元年5月、「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」を策定し、新たな環境汚染を生み出さない世界の実現を目指した具体的な取組を推進していくこととしている（以下、海洋プラごみとする）。

海洋プラごみによる環境汚染について、あなたの考えを述べなさい。ただし、解答に際しては3段落構成とし、以下のア～オの指示に従って書きなさい。

ア 海洋プラごみによる海洋汚染は、現在どのような状況にあるか、資料1～3から読み取れることを第1段落に書くこと。

イ 海洋プラごみによる海洋汚染の影響として、どのようなことが考えられるか、具体的な影響を第2段落に書くこと。

ウ 新たな環境汚染を生み出さない世界の実現を目指した具体的な取組として、どのようなことが考えられるか、資料1～3をふまえて、次の2点について第3段落に書くこと。

a 国、地方公共団体、企業などによる取組

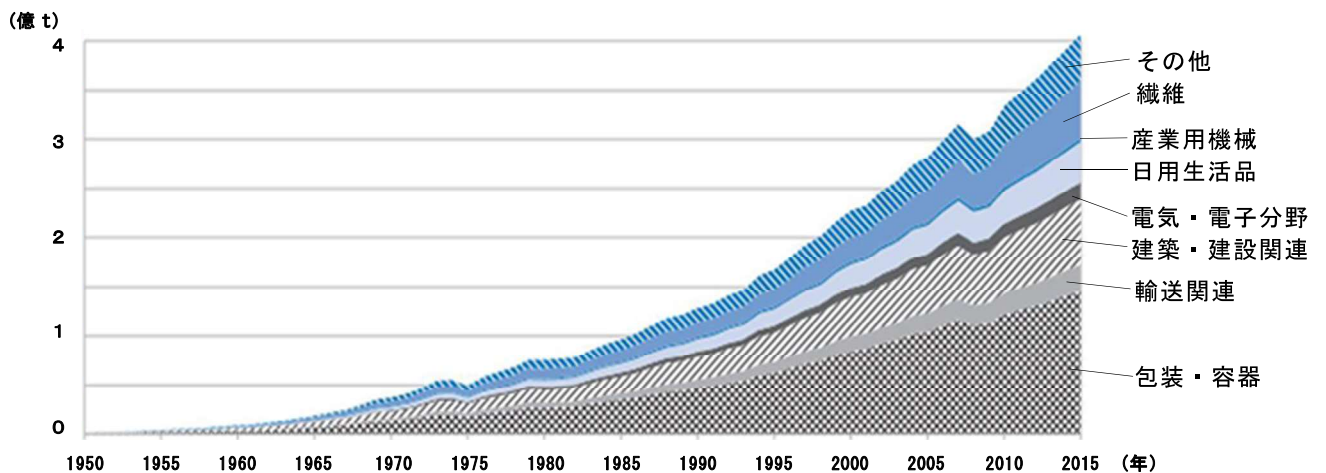
b あなた自身がとれる行動

エ 必ずしも全ての資料に触れなくてもよい。

オ 字数は、句読点を含めて500字～600字とする。

※表記に関しては表紙の注意事項を参照

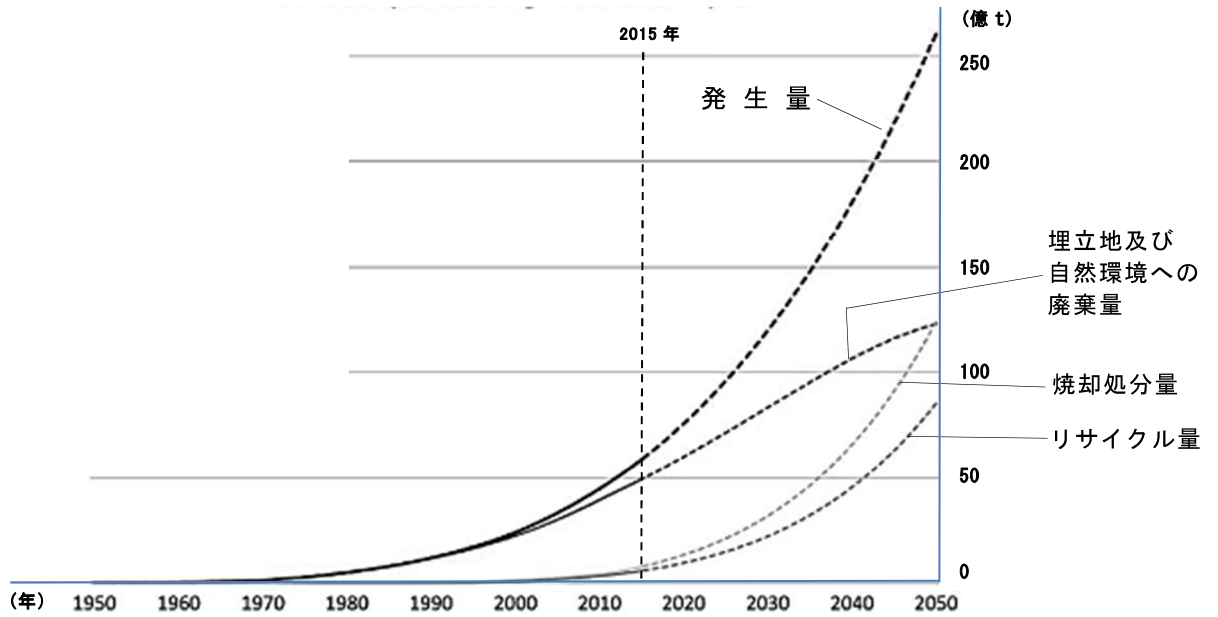
資料1 世界のプラ製品の生産量の推移とその内訳



※ 「包装・容器」とは、菓子やカップ麺などのプラ容器、調味料やシャンプーなどのボトル・チューブ、ポリ袋・レジ袋、容器類のキャップ、商品の外装フィルムなどを指す。

(OECDホームページより作成)

資料2 プラごみの累計発生量の推移とその内訳及び今後の予測



※ 2015年までは履歴、2016年以降は予測値。また、値は単年の量ではなく1950年からの累計である。
 ※ 「自然環境への廃棄量」とは、ポイ捨てなど自然界への不法投棄や、埋立地から海へ流出してしまったプラごみの量を表している。

(環境省ホームページより作成)

資料3 環境省による海洋ごみの実態把握調査(2016年)

図1 <漂着ごみの内訳 種類別個数の割合>

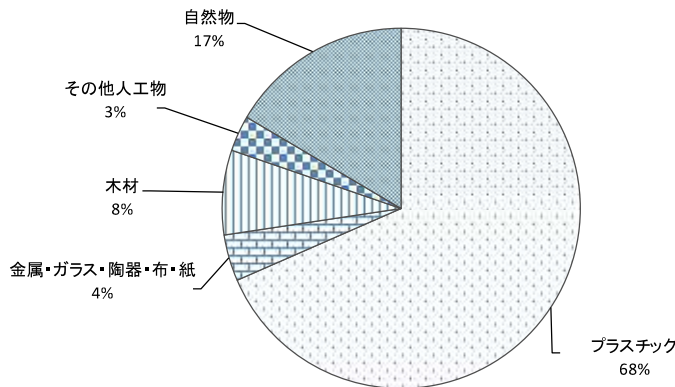
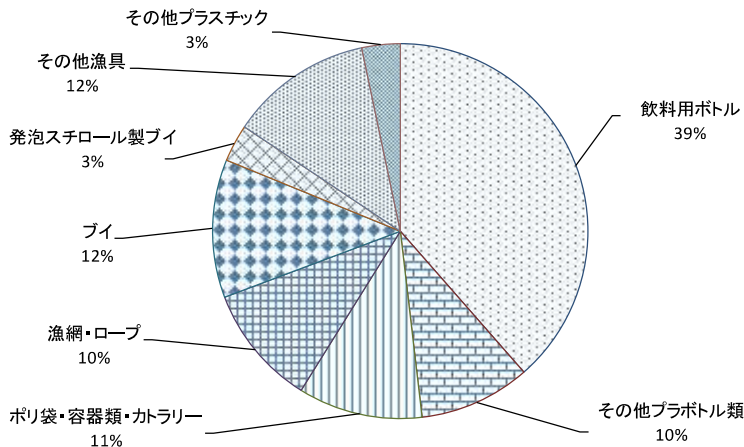


図2 <図1中の「プラスチック」の内訳 種類別個数の割合>



※ カトラリーとは、ストロー、フォーク、スプーン、ナイフ、マドラーのこと。

※ 全国10地点(稚内、根室、函館、遊佐、串本、国東、対馬、五島、種子島、奄美)で海岸線より50m内にある漂着ごみのモニタリング調査を実施。

(環境省ホームページより作成)